

横断型基幹科学技術研究団体連合
第2回理事会 議事録(抄録)

日時：2003年7月18日(金) 10:00～12:00

場所：産業技術総合研究所 理事長室

出席者：(敬称略、各50音順)

会長：吉川弘之

副会長：木村英紀

理事：木下源一郎、今野浩、曾我直弘、舘 暲、出口光一郎、土井美和子

監事：河野宏和

事務局：井上雄一郎、清水祐美

議事：

1. 設立シンポジウム報告

土井理事から、6月27日に開催された設立シンポジウムについて報告があった。

2. 横幹連合推進協議会について

舘理事から、推進協議会に関する進捗状況の報告があった。

・現在検討中の主要事項は次の通り：

- ・ 推進協議会の位置づけ(横幹連合との関係)
- ・ 公募などによるテーマの選出と運営法
- ・ 中小企業と大企業のニーズの違いの調整と連携体制

3. 企画委員会報告

木村副会長より、資料2-3-1に沿って第1回委員会の討議に基づく各種提案があった。

3.1-1 知的財産問題

- ・ 知的財産問題に対応するための「知的財産委員会」(仮称)の発足が提案され、承認された。今野理事を中心に委員会を発足させ、関係学会にも委員選出を依頼する。
- ・ 知的財産学会との調整、連携を図る。
- ・ 知的財産問題について、今野理事より次のような説明があった(配付資料2-3-2)。2005年をめどに我が国でも知財高等裁判所が設立される構想があることを受けて、今、我々は知的財産の保護を巡る諸問題に目を向けるべき時期にある。知財高等裁判所制度導入にあたっては、特許訴訟をはじめとする技術紛争に対し、技術者のアドバイスが法律家に適切に聞き届けられるような制度作りを行う必要がある。将来的には、横幹連合がフェスト事件裁判におけるIEEEの役割を果たせるような位置付けを目指したい。

3.1-2 教育問題

- ・ 「教育委員会」設置の提案があり、承認された。
- ・ 政策提言プログラム「横断型科学技術の役割とその推進」の教育WGによる活

動の成果を生かすため、WG 主査の原田 昭 氏（筑波大学）に委員会主査を打診し、当面、期間を 1 年として活動を開始する。

- ・今野理事は知財問題に注力するが、教育問題担当理事として支援していく。

3.2 「シミュレーション技術に基づく品質管理」

- ・日本品質管理学会のコンソーシアム構想との調整を図りながら、応用統計学会等にも呼び掛けて、今後、推進構想を練っていくこととした。

3.3 推進のための機構強化

- ・横断型のプロジェクトを国の助成金を受けて実施できるような機構作りを目指すことについて、原則的に理事会の賛同を得た。
- ・具体的な機構については、今後の横幹連合のあり方、政策提言プログラム「横断型科学技術の役割とその推進」における提言内容も勘案しつつ、引き続き検討することとした。

3.4 学会長懇親会

- ・秋に開催計画中のシンポジウムに合わせて、横幹連合参加学会の学会長による懇親会を実施することが提案され、理事会の賛同を得た。

3.5 横幹連合のメンバー拡大

- ・現状範疇での未参加学会への勧誘活動が提案され、了承された。

4. 各委員会の活動報告

（略）

以上